JIS

静電気－第 4-7 部：特定応用のための標準的試験方法－イオナイザ

JIS C 61340-4-7：2011

（RCJ/JSA）

平成 23 年 12 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

（日本規格協会 発行）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本工業標準調査会標準部会 電気技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
（委員会長）	小 田 哲 治	東京大学
（委員）	岩 本 佐 利	一般社団法人日本電機工業会
	岩 本 光 正	東京工業大学
	上 原 京 一	株式会社東芝
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	大 崎 博 之	東京大学
	長 田 明 彦	社団法人日本配線器具工業会
	京 橋 昌次郎	社団法人電池工業会（パナソニック株式会社エナジー社）
	熊 田 亜紀子	東京大学
	佐々木 喜 七	財団法人日本電子部品信頼性センター
	島 田 敏 男	社団法人電気学会
	下 川 英 男	社団法人電気設備学会
	鈴 木 篤	社団法人日本電球工業会（日立アプライアンス株式会社）
	住 谷 淳 吉	一般財団法人電気安全環境研究所
	豊 馬 誠	電気事業連合会
	中 村 禎 之	一般社団法人日本電機工業会
	原 田 真 昭	社団法人日本電線工業会
	飛 田 恵理子	特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟
	前 田 育 男	IEC/ACOS 専門委員（IDEC 株式会社）
	山 田 秀	筑波大学

主 務 大 臣：経済産業大臣　　制定：平成 23.12.20
官 報 公 示：平成 23.12.20
原 案 作 成 者：財団法人日本電子部品信頼性センター
（〒104-0041　東京都中央区新富 1-7-4　阪和別館ビル　TEL 03-6280-5601）
財団法人日本規格協会
（〒107-8440　東京都港区赤坂 4-1-24　TEL 03-5770-1571）
審 議 部 会：日本工業標準調査会　標準部会（部会長　稲葉　敦）
審議専門委員会：電気技術専門委員会（委員会長　小田　哲治）

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室（〒100-8901　東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

目　次

ページ
序文 1
1　適用範囲 1
2　引用規格 1
3　用語及び定義 2
4　安全上の要求事項 4
5　試験装置 4
5.1　帯電プレートモニタ（CPM） 4
5.2　帯電プレート及び接地プレート 4
5.3　電圧測定装置 4
5.4　直流高圧電源 4
6　各種イオナイザに対する個別要求事項 5
6.0A　一般要求事項 5
6.1　ルームイオナイザ 6
6.2　層流フードイオナイザ 8
6.3　作業表面イオナイザ 10
6.4　圧縮ガスイオナイザーガン形及びノズル形 12
附属書 A（参考）イオナイザの特性評価のための基礎知識 14
附属書 B（規定）絶縁した帯電プレートの静電容量測定方法 20
附属書 JA（参考）JIS と対応国際規格との対比表 23
解　説 25

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は，工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき，財団法人日本電子部品信頼性センター（RCJ）及び財団法人日本規格協会（JSA）から，工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり，日本工業標準調査会の審議を経て，経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は，著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が，特許権，出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は，このような特許権，出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について，責任はもたない。

JIS C 61340 規格群には，次に示す部編成がある。

JIS C 61340-2-1　静電気－測定方法－材料及び製品の静電気電荷拡散性能の測定方法

JIS C 61340-3-1　静電気－第 3-1 部：静電気の影響をシミュレーションする方法－人体モデル（HBM）の静電気放電試験波形

JIS C 61340-3-2　静電気－第 3-2 部：静電気の影響をシミュレーションする方法－マシンモデル（MM）の静電気放電試験波形

JIS C 61340-4-1　静電気－第 4-1 部：特定応用のための標準的な試験方法－床仕上げ材及び施工床の電気抵抗

JIS C 61340-4-3　静電気－第 4-3 部：特定応用のための標準的試験方法－履物

JIS C 61340-4-4　静電気－第 4-4 部：特定応用のための標準的試験方法－フレキシブルコンテナの静電気的分類

JIS C 61340-4-5　静電気－特定応用のための標準的試験方法－人体と組み合わせた履物及び床システムの静電気防止性能の評価方法

JIS C 61340-4-7　静電気－第 4-7 部：特定応用のための標準的試験方法－イオナイザ

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。

日本工業規格　　JIS
C 61340-4-7：2011

静電気－第 4-7 部：
特定応用のための標準的試験方法－イオナイザ

Electrostatics—Part 4-7:
Standard test methods for specific applications—Ionization

序文

この規格は，2010 年に第 1 版として発行された **IEC 61340-4-7** を基とし，安全上の要求事項がそのまま採用できないため，技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお，この規格で点線の下線を施してある箇所は，対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて，**附属書 JA** に示す。

1　適用範囲

この規格は，静電気対策の一環として，電荷中和のために使用するイオナイザを評価及び選定するときの試験方法及び手順について規定する。

この規格は，特定の条件下で，イオナイザのオフセット電圧（イオンバランス）及び減衰（電荷中和）時間を決める測定技術を確立する。

この規格には，電磁妨害（EMI）の測定，並びに兵器，可燃性，爆発性などのアイテム及び電気起因の爆発性装置に関連して使用するイオナイザの測定は含まない。

この規格に示す試験方法及び試験条件は，イオナイザの製造業者がその製品の性能を表示するのに用いることができる。

イオナイザの使用者が，イオナイザを適切に使用できるように，また，イオナイザの性能の周期的に確認ができるように，その特定応用に際して試験方法及び試験条件を修正することを勧める。使用者は各応用に求められるデータ範囲を決める必要がある。

注記　この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を，次に示す。

IEC 61340-4-7:2010，Electrostatics－Part 4-7: Standard test methods for specific applications－Ionization（MOD）

なお，対応の程度を表す記号“MOD”は，**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき，“修正している”ことを示す。

2　引用規格

（対応国際規格では，米国政府関係の規格及び米国の民間規格を引用規格としているが，この規格への引用は不適切又は不要であり，不採用とした。）

著作権法により無断での複製，転載等は禁止されております。